祝 Poche 3年目 開幕

Poche通信 NO.1 春の講座号

ものづくり講座！ 2006年度 第1弾

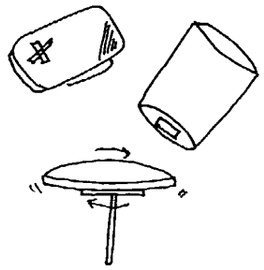
絵手紙をつくろう！

安達さんに、簡単だけど、ステキで味のある絵手紙のつくり方を教えてもらいました。短時間で、個性いっぱいの絵手紙がうまくできあがりました。

小学校「学級びらき」

○ものづくり講座

これまでの「ものづくり」の中から、教室掲示に使える「なんでも磁石」とすぐに作れてたのしめる「ホログラム万華鏡」「皿回し」の3つを作成。



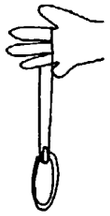
○学級びらき講座

・絵本の読み聞かせパターン

『おおきくなるっていうことは』
『教室は間違うところだ』
『ともだち』
紹介しました。

・手品パターン

リングキャッチャーの紹介



・実験パターン

ブタンガスで遊ぼう
軽いモノは浮く
紹介

・オマケ

ダイコンの観察

今回は初めて見る方も多く、少し雰囲気も違って、新鮮な会になりました。

参加者の感想

私は、新卒で1年生の担任をしています。何しろ、経験が無いもので、何をすればいいのか何もかも全く分からない状態です。そのような中で、この会に参加してみました。その感想は一言で言うと感動です。こんなにも楽しくて勉強になる会があるなんて、ホントに素晴らしいと思います。
これからも機会があればどんどん参加して、自分の教師としてのミリョクを高めていきたいと思います。
教えて下さる先生方もとても優しく丁寧で、メンバーのみなさんにもとても親近感を覚えました。思っていたよりも小規模でアットホームなサークルで、とても楽しかったです。ありがとうございました。

大学を卒業して間もなく、いきなり担任といわれて、何をしたらいいのか全くわからず、とまどっていました。
今日のこのサークルで、参加して、少し学級開きが楽しみになりました。
学級開きでは「何かインパクトのあることをしたい」と思っていたのに、何も特技がない私……。
10日の始業式の日には、手品をやってみようかなと思います。
ありがとうございました。

健康教育「保健室びらき」

○スケッチブック保健指導

「手あらいの大切さ」や「カゼウィルスをとばさない工夫」をもりこんだスケッチブック製教材紹介
同じパターンで「下着の役目」の教材も紹介。

手書きの絵のやわらかさ、コンパクトで使いやすい
横から絵がとび出したり
工夫いっぱい。

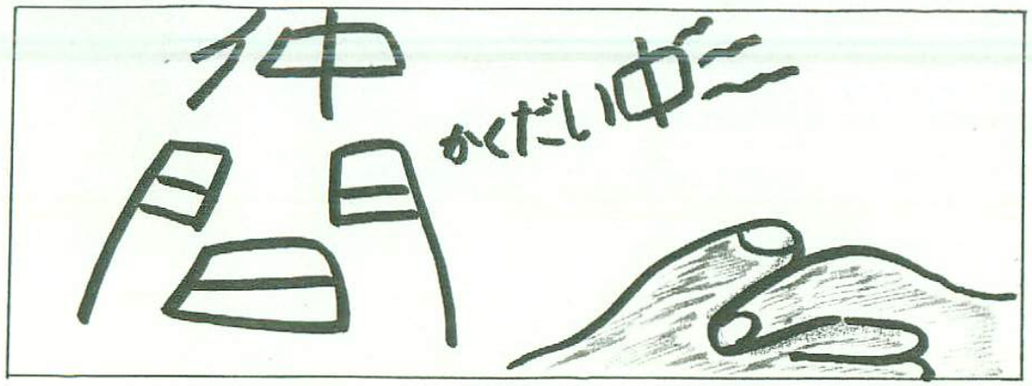
保健指導の時間ってどう確保するの？

まず、今、(保健指導が)できる時間をどう工夫するかを考えよう。

① 何を伝えるか、ポイントを1つに。 (!) もりだくさんにならないように

② どう伝えるか、教材の工夫を。

このためには、指導のための専門的知識が必要で、今年度はまず、ショートに模擬授業など取り入れながら、知識や教材の工夫、ロングやショートでのすすめ方などもやっていきたいです。
また次回、もってこれるものは何でももちよろう!!!



Poche通信

No. 2

新しいなかまも加わり
8名でにぎやかに…

おいしそうな？ おだんごパズルづくり

簡単な材料で、おだんごのようにつなげていきます。おなかがすいていたので、つい食べちゃいそうでした。

ボンドが乾いてからは、頭のやわらかさが試されます。
教えてもらうと「あ〜あ〜あ〜」って感じなのですが…。
すぐ、他の人にやってあげたくなる1品でした。

小学校分科会

○朝の詩

前日の放課後、子どもたちが帰ってから黒板に詩を書き、朝、子どもたちが登校した時に、それを見る…といった取り組みを何森さんからありました。今は言葉遊びの詩が多いのですが、朝の会がすんだあと、授業を始める前に全員で読んで楽しんでいます。けっこうノリノリです。少しずつ、奥が深い詩にうつっていけたらと思っています。

○ニキーチンのパズル

山本さんがブロックパズルを用意してくれました。立方体をボンドでつないで作ったピースを組み合わせて、いろいろな形を作ります。少し時間をとってみんなで楽しみました。

○その他いろいろ

学級での出来事から子どもの見方を考えたり、教室でチョウを飼う話(3年生)、ひらがなの指導の方法(1年生)などなど、いろいろな話題を交流しました。

健康教育分科会

○保健指導と保健学習の違いって？

性教育の授業で、時間的な確保がむずかしく、なかなか系統的に学習ができにくく、授業者自身のこだわりもあるため、どうしても授業者が主導権をとった、子どもたちの活動が少ない中身になってしまう。いわゆる「指導」型から、子どもをゆさぶり、気づきを大切に、活動を取り入れた「学習」型への工夫について交流。

次回5月の例会で、模擬授業をおこない、意見交換しながら、検討することになりました。

○性教育のすすめ方

学校で系統だてて性教育をすすめるにあたって、各学年でおさえておきたいポイントを話し合いました。保護者の理解をどうするのかなども含めて、お知らせの出し方も交流。次回につなげていく予定です。

参加者の感想

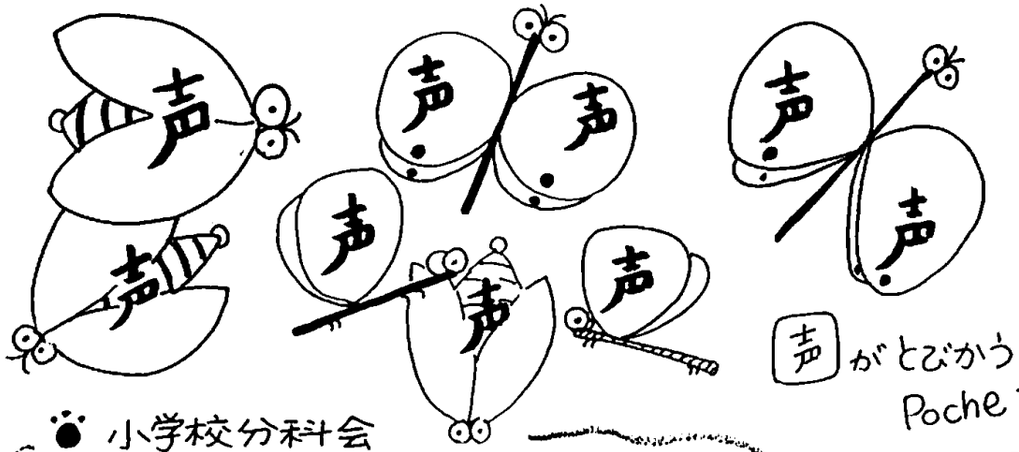
本当に久しぶりの参加になりました。遠足に行き、つかれもありましたが来てよかったなぁー。元気が出ます。
すぐ自分のクラスの子とどうのこうのというのはないけれど、話をきいたり、手をうごかしたりして、「ほぉー」といっぱい心がうごきました。

自分のからだの不思議さ、命の大切さ、心の発達…
保健的なことで子どもたちに伝えたい、知ってもらいたいこと、たくさんあります。
それを、楽しく学べる機会を増やせるよう、交流しながら深めていきたいです。

2年生を担任していたときは、毎朝なぞなぞを書いていました。必ず、朝わたしの所に話をしにくる口実にしようと思っていました。
1年生は、こんなだけど、毎日新しい発見ばかり。「えっ、そうくる!?」というような事が多々あります。また、おもしろい子がいるので、話します。

Poche 年会員募集中です!!!

5月入会なら
◎200円×11ヵ月＝2200円です。
⇒もちろん、夏の講座も会員なら無料です。



声がとびかう
Pocheです。

Poche通信

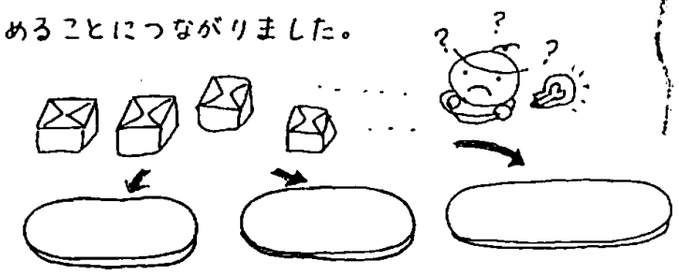
NO. 3

6人でみんなの声が
とびかう会になりました。

小学校分科会

○わり算（3年生）

何森さんの報告です。液体を等分する授業で導入し、キャラメルに見立てたブロックを等分するところに入りました。18個のキャラメルを3人で分ける、などとするのですが、徐々に「わける前に予想する」ようにします。子どもの「1個やとしたら、3回で3個やる、2個やったら6個やる…… 6個やったら6×3で18個や！」という意見が、かけ算九九で答えを求めることにつながりました。



○米づくり（社会科5年）

香川さんの報告です。子どもたちが持ってきた米袋を見て産地を地図に書き込んでいくと、みごとに全国に分布。それをきっかけに子どもたちの興味が高まりました。そして、たくさんの袋の中でただひとつ生産者名のあるものに注目し、手紙を書くことに。返事はまだだそうです。次回の報告が楽しみです。その他研究会参加報告も。

参加者の感想

5年になってメダカのことにしても、学級でのいろんな活動にしても、何にしても、子どもらの良いっきのよさと行動力のすごさにあっとうされつつ毎日、毎日自分も（自分が!?）子どもらとすごして楽しいー！という日々です。

その一方で、この子どもらといっしょに進っていくためには、まず勉強せなぁ…と不安もふくらんできます。少しずつ吸収していきたいです。

3年生向けのいのちのはじまりの模擬授業を見せていただきました。赤ちゃんのだき方や、自分が赤ちゃんのころ、おなかの中でしていたことなど知らなかったことがいっぱいでした。

自分も、がんばって育って、生まれたくて生まれてきたことが伝わりました。すごく大切なことを教えてもらったと思います。得したなと思っています。今度は私が伝えられるようにもっと勉強したいです。

健康教育分科会

○性教育年間計画及び自作教材の紹介

荒木より報告。続いて実際3年生の部分を模擬授業しました。

○いのちのはじまり（3時間扱い）

お母さんの子宮内で育つ約10ヵ月。自分はどんなことをしていたのか、その自分にまわりの人たちはどうかかわったのかをテーマに

1次：赤ちゃん人形を抱き、感想を出し合う。
妊婦さん体験をし、妊婦さんだった頃のお母さんの気もちを考える。

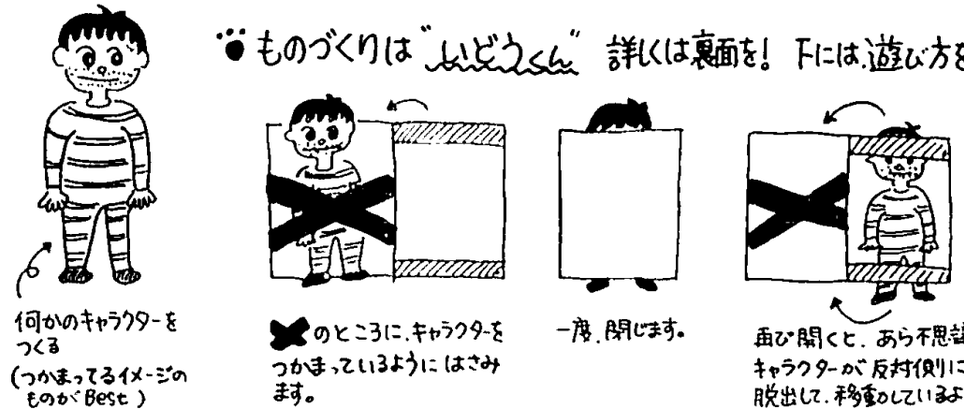
2次：おなかの中にいた頃の様子・大きさ・重さを、9ヵ月、6ヵ月、3ヵ月、1ヵ月、0ヵ月に焦点をあて、人形を使って命のすごさを体験する。

3次：自分の命のはじまりは？と題し、自分の命は1つのお母さんの卵子と1つのお父さんの精子の結びつきであることを、パネルを使いながら、知らせる。

の授業を簡単に流しました。

来月の内容は、1年生の大切なからだの2時間分と、時間があれば、『さをいにのらない』をしたいと考えてます。

ものづくりは"いどうくん" 詳しくは裏面を！ 下には遊び方を書いています。



笑笑笑笑

どんなことでも最後はみんなの"笑"をみたいな

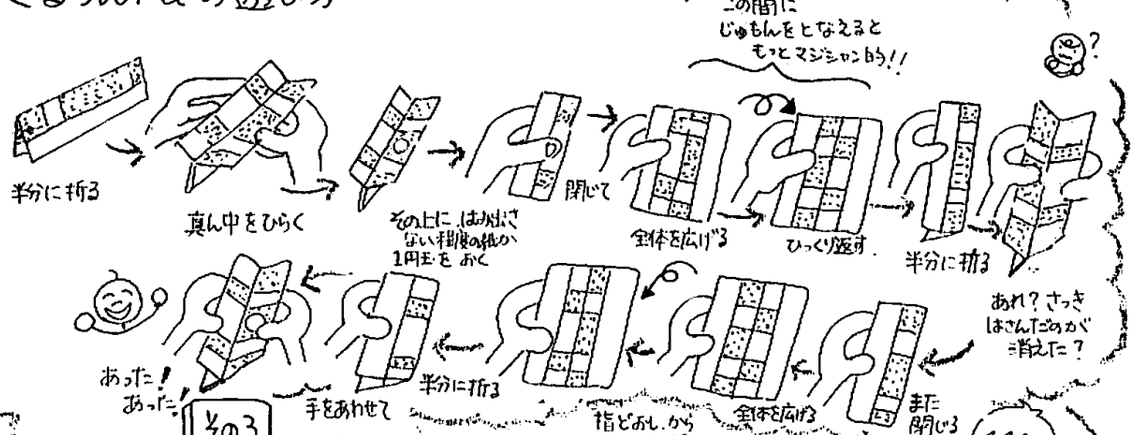
参加者の感想

＝終了間近に話した子どもの対応に関して＝

子どものコミュニケーションについては、教えていくしかないという気がしています。思いを伝えないのではなく、その術を知らないということを常に頭に置いてその都度、「そんな時は～っていえば◎」ということを確認するしかないと思う。今年は特に意識してやらなきゃ。

そういう積み重ねが、授業をうまく進めるための基礎（例えばグループ学習とか教え合い）になっていくんだなあと思う。

くるりんPaの遊び方



小学校分科会では……

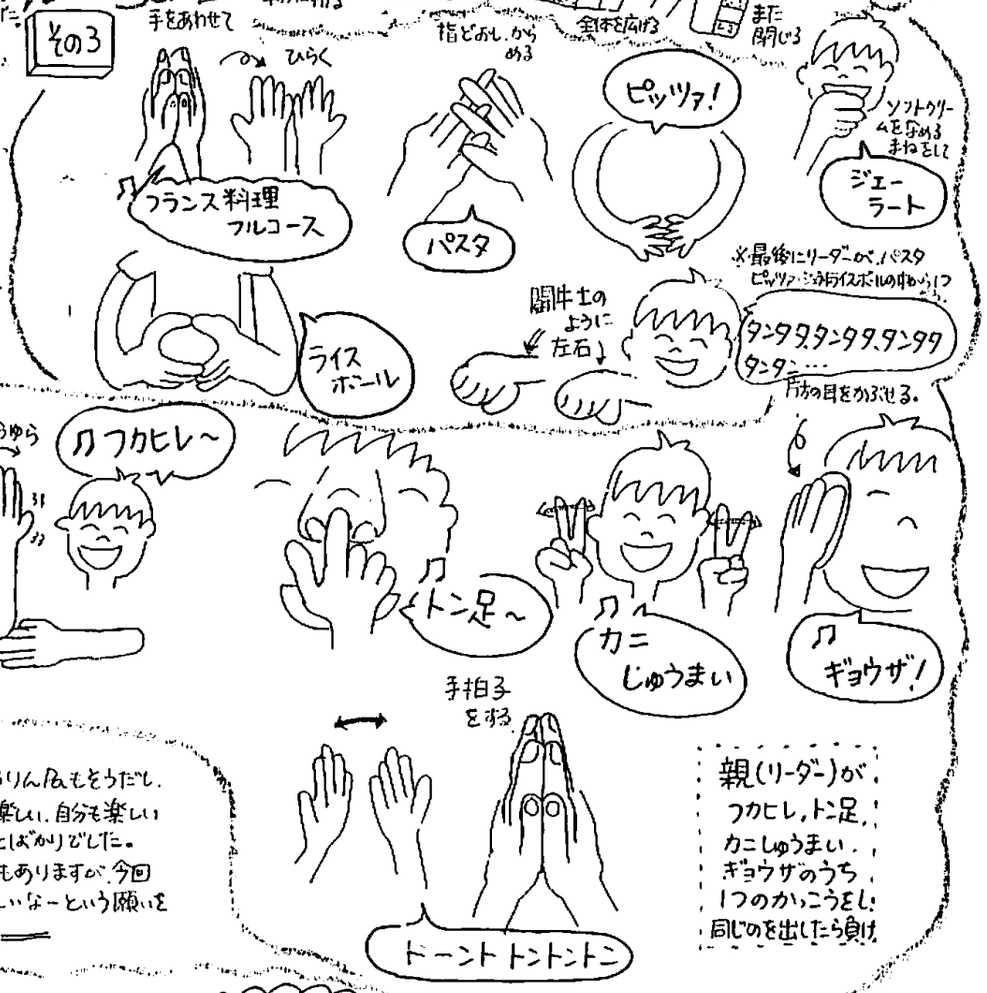
○みんなで手あそび

何森さんのところにきている教育実習生の方から教えてもらった手あそびを何森さんがしょうか～い。

その他に、算数の「リボンを立方体にかけた展開図」も学びましたが紙面の関係上のせていません。

Poche通信

NO. 4

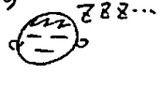


今回のPocheは、3人という少ない参加でしたが、くるりんPaもそうだし、手遊びもそうだし、すぐ、子どもたちを引きつけ、子どもも楽しい、自分も楽しい「この先生、おもろいなー」と、子どもたちの人気者になれることばかりでした。紙面のほとんどが、絵になってしまい！見えにくいところもありますが、今回参加できなかった、会員の方も、せひ、これを見て、やってほいなーという願いをこめて、書きました。

＝編集局より＝

親（リーダー）が、フカヒレ、トン足、カニしゅうまい、ギョウザのうち1つのかっこうをし、同じのを出したら負け

今月の健康教育分科会は、人数が集まらずおやすみです。



夏は 心 充電 からだ 充電

Poche 通信

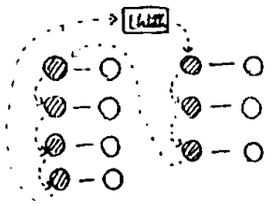
NO. 5

人数は少なかったけど、合同学習でもりあがりました。

保健学習を楽しく……。

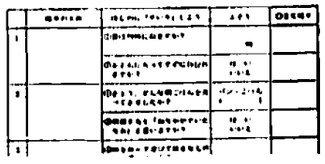
荒木さんより、3年生の保健「健康な生活」の学習プランの紹介。

まず1時間目に、子どもたち自身をお互いもっと知り合わせるために、『たんていゲーム』をします。



左のように、2人でペアを作ります。しんぱんは、中央にすわります。用紙の質問のうち、1つを選び、目の前の人を見て予想します。そのあと、質問をして答えがあっているかを確めます。

続いて、席を移動します。(…→)の順に。そして、次の新しいペアでお互い推理しあいます。このゲームをして、友だちの新しい一面を知り、ビックリしていた子や、友だちに考えてもらい、てれ笑いしている子などが見え、楽しく学習できました。

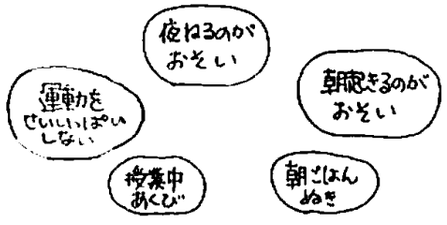


続いて2時間目。『スッキリ まさとくん』の紙芝居を使って、健康によい生活とは何かを考える学習。

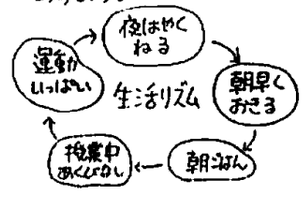
〈紙芝居のあらすじ〉

まさとくんは、今はとても「スッキリ」でも、ほんの2週間前まではこうではなかったのです。ほんの2週間前、まさとくんは、おうちの人の声も聞かないで、遅くまでゲーム。夜ふかしだったので、朝起きられず、朝ごはんも食べず学校へ。授業中もあくび、体育もだるくてできません。そして、そのうち、先生に……。

続いて、ワークシートに、健康によくない生活を見つけて書き、発表



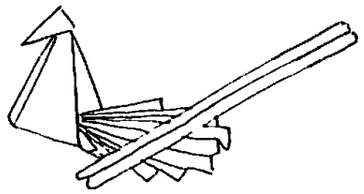
よりよい生活にするには、どうしたらいいか、アドバイスしてあげよう。



よりよい生活はわかっても、実行できなければ意味ありません。このあとは、「できない」ことをお互い出し合ってそれをみんなで考え、解決していける話し合いの授業にとりくむ予定です。

つるの箸置きづくり…

外食や宴会の時、箸袋でチョチョッとつるの箸置きをつくると、すぐ人気者に。何森さんが知人に以前教えていただいたワザで、ブログにものせたら、問い合わせがあったそうです。



最初は、安定よく作るのはむずかしいけれど、何度か練習すれば、すぐできるようになりますよ。

次回は 恒例の夏Poche 〈夏の教育講座です〉

裏面のお知らせを参考にして下さい。

今回の講師は、**船越 勝さん**です。

子どもを成長・発達の側面から、見て子どもの育ち、獲得する課題等をわかりやすくお話していただきます。

2学期、子どもたちとどう向きあうかのヒントが得られます。まわりのお友だちなどにも声をかけて、たくさんの人を交えて、学びたいですね。

安全・安心・安定

学校・学級づくり

第2部 講演

子どもの"育ち"をとらえ直す

―いまこそ、憲法・教育基本法・子どもの権利条約の精神で、子どもを「平和的な国家及び社会の形成者」に育てる―

和歌山大学の船越勝先生をお紹きして、じっくりそして、わかりやすく、事例などをあげながら、お話しいただきました。

最近の子ども調査より

① 小学校で校内暴力が急増
- 対 教師
- 対 生徒(児童)

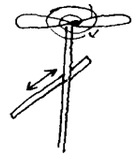
知っている人がターゲット
- 心理的規制がこの間にあると考えられる。

② 不登校は減少しているように見えるが……
保健室登校やフリースクール等に通っている場合は出席となる。

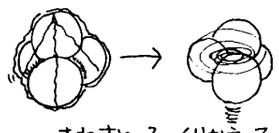
③ いじめは過去の問題か？

第1部 ものづくり あれこれ

ガリッコ、コマ マコ コマ

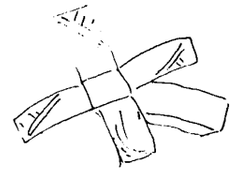


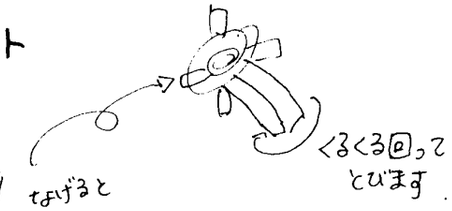
ガリガリ
こすると、上のプロペラがくるくる回ります。

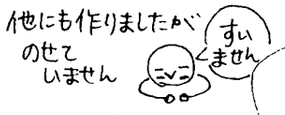


まわすと、ひっくりかえってまわります。

くるくるロケット







Poche通信

NO. 6

恒例の夏の講座

参加者の感想あれこれ

今日、先生の講議を聞かせていただいて、大学時代をなつかしく思い出しました。今、現場の教師として、聞かせていただくと、自分のクラスのあてはまる子を思い浮かべて聞くことができ、大学時代とはまた違った思いでした。

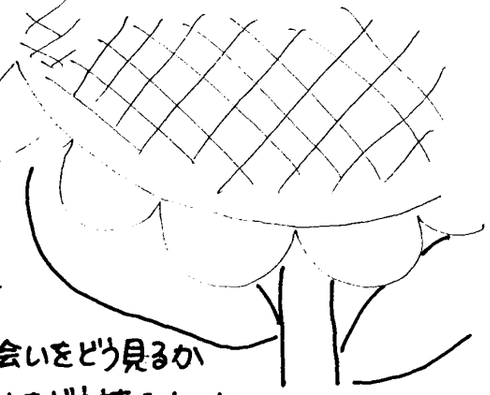
先生が話された「安全・安心・安定」は、一番印象に残っている言葉です。

自分のクラスが今、どのような状況かと考えると自分の気分で子ども達は行動してるんだろうなと思う毎日です。2学期からどれだけ先生の話されたような、子どもが安心できるクラス作りができるかは不安ですが、この言葉を忘れないようにがんばらないといけないと思いました。

今日は、とても久しぶりに「ぽっけ」に参加しました。物づくりとても楽しかったです。2学期に子ども達とつくりたいと思います。作って楽しみながら、子ども達の顔がうかんできて、わくわくしていまいました。

船越先生のお話を聞かせていただいて、子どもの様子を読み取ること、また言葉がけすることの大切さを再確認することができ、気をつけながら、日々を送ろうと思えました。

子ども達ひとりひとりが過ごしやすい居心地のよい学級づくりを、目指して今後も頑張っていこうと思います。



発達課題を通過してくる子どもたちに対応する教師は「ケア」する力が必要

と、「応答」

- 子どもとの最初の出会いをどう見るか
- 子どもの発言や行動をどう読みとか

「応答」しつづけることが「ケア」につながり、関係づくれることで、仲間と子どもを結びつけるモデルになる。

今の子どもたちにはないことが見られる

社会制作のちからの発達過程

依存

幼児期前期

人間に対する基本的信頼

幼児期後期

自己主張と自己コントロールの力

○○だから □□□しない

4才半のふし

がまんをおぼえる

○○だけれども □□□する

集団

小年少女期

○○だからばかり使う子どもは、4才半のふしをこえていない。

ギャング集団

ルールづくり

反抗

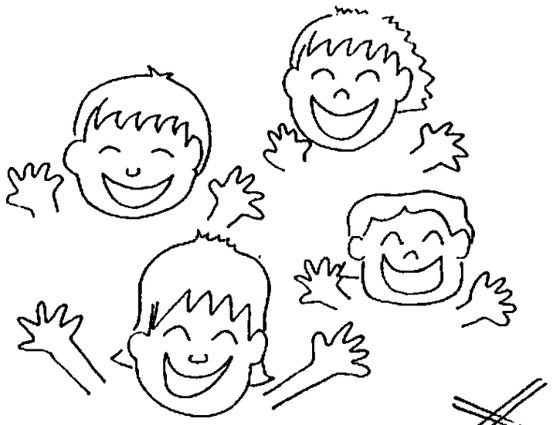
思春期・青年期

アイデンティティの認識

集団の中での役割

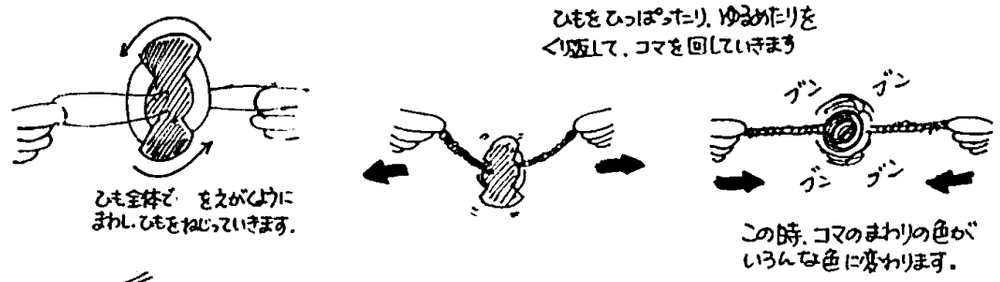
自分が楽しむ

まず



ブンブン音が出るだけじゃーものたりない あなたに ≡ しインボー

今回のものづくりは、しインボーぶんぶんゴマ。夏の研修会であったものづくりの講座で、学んできました。ブンブン音をたてて、回っている間に、コマの色がどんどん変わる。まわすまでには、練習がいりますが、ぶんぶんゴマを回せるようになったら、あとは、楽しめます。



Poche通信 No.7

新会員さんもむかえ、
10人で大盛り上がりの2時間

小学校部会では……

○言葉遊び

参加者から、国語の研究会に参加した様子と、言葉遊びの絵本を作った報告。言葉遊びは、『あっちゃん"あ"がつく』(さいとうしのぶ、リーブル)をもとにしたもので、1年生の子どもたちに ひらがなと文字を選んでもらって作ったそうです。

たとえば、「ち」なら「ちっちゃん ちがつく ちくわが おいしい」などです。なかなかおもしろい絵本ができていました。

○漢字パズル

参加者から、「部首に魚のつく魚をあらわす漢字」の話が報告。リサイクルショップで「鱇(とと)あわせ」というカルタ(?)を買ったということで、その二枚の札をあわせて、部首が魚で、しかも魚を表す漢字を作るゲームができるとか。しばらくワイワイ遊びました。

○授業プラン(1本ちがいで大ちがい)

漢字の話で盛り上がったので、続いては授業プランの報告。十個の「日」の漢字にそれぞれ一本ずつ線を書き、加えて ちがう漢字を作るという、昔からある授業プランです。(仮説のサークルが出どこだと思います)

健康教育部会では……

夏休みの間に参加した研究会、学習会の報告をしました。

メンタルヘルスの話、

授業づくりの話、…… など、

資料を見せてもらったり、その参加していた様子を話してくれたり、交流。

「保健」の授業の部分では、5年生の心の発達のところで、「女子さ」という気もちのもぎ授業の話を紹介。次回は、その時紹介してもらった絵本を見せたいと思っています。

また、4年生での"育ちゆくからだとわたし"のところの展開の工夫も次回、参加者と交流したいと考えています。

参加者の感想

"あっちゃん"あ"がつく"はぜひやります!
とてもかわいいし、創作は子どもが興味を持ってやってくれますよね。
ぶんぶんゴマはとても楽しいです。1年生なので、作るのは大分サポートがいると思いますが、ぶんぶんゴマ自体もあまりまわしたことがないかと思うので、今度やってみたいと思います。

長い間、いそがしいを理由にお休みしていました。久しぶりに来たら、たくさんの人が参加されていて、にぎやかでした。
話を聞かせてもらって、頭がやわらかくなった気がします。

おもしろかったです。
初めて参加させていただいて勉強になりました。
今日の講習では、漢字を使ったクイズが多くて、自分自身が全然漢字わかっていないなと感じました。
だけど、おもしろく楽しくやることで、覚えるし、もっと知りたいなと感じることができました。

夏休みの研修交流をすることで、自分の研修が深まり、相手の研修から学ぶことができました。
異なる研修に参加していたので、2倍研修できた気がします。
やりっぱなしになりがちな研修でしたが、伝講するためにふりかえることで、もう一度学び直すことができました。

魚へんって あれほどたくさん漢字があることにびっくりしました。
授業のちょっとあまった時間にできる内容だったり、参観にもぴったりですね!
またいっぱい、教えて下さい。

柔軟

子どものころには、
きっとこうだっただろうなー。
おとなになった今、
もし、忘れていたら、
とりに行きたいね。
置き

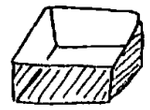
牛乳パックパズルを作ってとこう…。

今回のものづくりは、作るのカンタン、とくのがというか、ひっくり返すのがむずかしい、パズル作り。

自力でとこうと思ったけど、やっぱりむりで、教えてもらうと、超カンタン…。

得意がってしていると、カッターで入れた筋が、切れそうに……

それほど、夢中になるアイテムです。



作り方は、裏面に!!!

小学校部会

○授業プラン〈一本ちがいで大ちがい〉

9月のPocheで紹介した授業プランの授業プリントを紹介。

○授業プラン〈三角形と四角形〉

何森さんからの、授業プラン(実践中)の報告。4年前に実践したものの改良版。改良前のベージョンを使ったことがある会員も、「前よりスッキリまとまっている」と好評。

○疑問、質問コーナー

近況報告も兼ねて、言いたいことをいろいろ交流。子どものことが中心でしたが、子どもの見方・とらえ方の大切さが、あらためて、会員の中に位置づいた時間となりました。来月からは、こんな時間もしっかりととっていきたいと思います。

算数は、TTで自分でやっているわけじゃないんですが、こんな面白い方法で、この単元が勉強できるんだということがわかった。
ぜひ、やってみたいと思う。
うちのクラスは、折り紙がすきだったり、ゲームが好きだったりするので楽しみです。

Poche通信

NO.8

子どもの話も出て、
深みある学習会でした。

健康教育部会は
おやすみです

参加者の感想

1年生に漢字を教えると
「大に、(てん)つけたら、犬やなー」とか
「年は生ににてるなー」とかよく言います。

今日も、書写のプリントを返却したんですが
こんな風に丸をつけたら
「先生、コレ、おばちゃんの顔にしたん?」と
きかれました。子どもの頭って本当にやわらかいなと思います。柔軟な頭のうちにいろいろ知恵がつくようなことができたらと感じます。

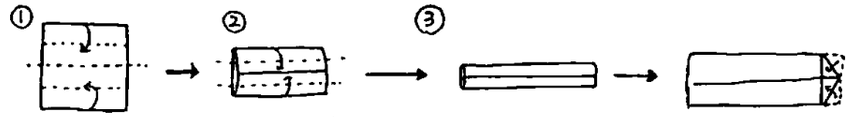
小さい◎は「この文字は上手!!」ということ

ものづくり、Part 2.

会員の安達さんより、1年生に大ブームの「しゅりけん」を教えてもらいました。

材料：折り紙 4枚

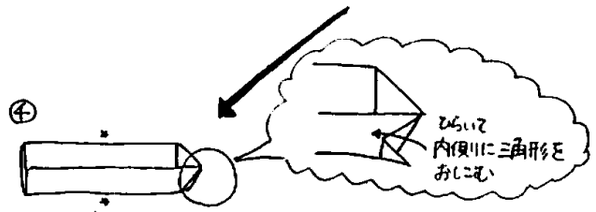
つくり方



①上下を、中心線にあわせております。

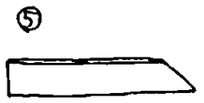
②次に、もう一度上下を中心線にあわせております

③右側の端を三角形におり、おり目をつけます。

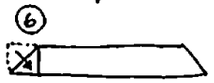


④下の帯の三角形だけひらき、内側におりこみます。

ひらいて内側に三角形をおしこむ

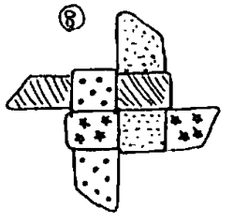


⑤④の＊印どおしをあわせ、細長い帯にする



⑥左の端を三角形におり、おり目をつける

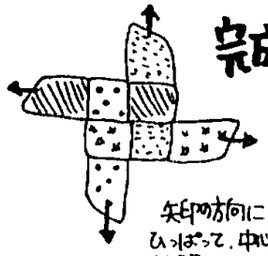
⑦半分におる
これと同じものを4つつくる。



⑧うらから見ても表から見ても、このようになるように、⑦でできた4つの部品を組みあわせる

ややこしいかな…

はしは、⑥で折り目をつけた部分を④でおりこんだ三角形のポケットに入れて、安定させよう。



矢印の方向にひっぱって、中心にすき間がないようにしよう。

完成!!

Poche通信

No.9

秋の深まり

学びの深まり……

小学校部会

・位取り定期を使った〈大きな数〉の授業

大きな数の授業を、和歌山の小田さんという方が発表した位取り定規を使ってすすめた報告を、何森さんがしました。千万までの数を読み、書き、「100が230個でいくら？」のような問題を、位取り定規を使って学習しました。参加者のみなさんも、1個ずつプレゼントしました。

・「▨ら▨ら」で言葉作り

安達さんが研究授業で取り組んだ内容を報告してもらいました。「▨ら▨ら」の▨にひらがな（同じ一文字のひらがな）をいれて言葉を作り、それがどんな時に使う言葉かを考える。という流れです。（インターネットで見つけたアイデアだそうです。）ちょっとしたお楽しみとして取り組める内容ですが、突っ込めば言葉の授業として、深みのある中身にもなりそうです。

・いくつあるかな ○○屋さん

何森さんから、算数・社会の合科で取り組みつつある内容の報告です。タウンページを使って、岸和田市の学校の数を調べ、グラフに表す。その後、小学校の数をもとにして、いろいろなお店がそれより多いか少ないかを予想しながら調べていきます。仮説実験授業研究会の井藤さんが作られたプランですが、それをもう少し算数っぽくできないかを模索中です。

・その他いろいろ

雑談がてら、いろいろな話をしました。

参加者の感想

位取りスケール？の話で100が230コ集まった数について100の部屋に230って書いた子がいましたが、すごく納得できました。イメージがつかみにくい問題だけど、その子の書き方ですっきりした感じを受けました。その後、左に23を移せばいいんだから、視覚的に分かりやすいって、理解しやすくなるってことを改めて思いました。

久しぶりに3人そろって楽しいPocheでした。

養教はひとり職種なので、実践交流はなかなかむずかしいけれど、もっと積極的に自分の実践を報告して、まわりから意見をもらうことは、とても大切だと最近とても思います。
これから、ますますこどもたちにとって大切になる健康教育を多くの子どもたちに展開できるようにほそぼそだけどがんばっていきたいですね。

すっとびロケット!!! すっとんだ

今回のものづくりは、すっとびロケット！
作るのは、超カンタン。楽しい。でも少々、遊び方要注意のロケットです。

健康教育部会

・測定時は男女別？

久しぶりに3人集まったので、雑談。

その中で出た、身体測定時の男女別の話が盛り上がりました。最近は男女混合名簿が「保健」の分野でも多くなってきていて、幸いというか、私たち3人が勤務する学校は男女別ですが、身体測定も服を脱がないで測定という所も増え、そのため特に低学年では、男女混合で測定している所も多いと思います。しかし、細かい方法は学校や特にこどもたちの意向で決定すればいいし、こちらの思いとこどもたちの思いの合意でおこなわれるのが一番という結論になりました。

・5年生の「保健」で地域に広げる

荒木より、「保健」の授業で自分たちの周囲にある交通事故防止のあれこれをグループ（町別）学習し、安全マップを作り、その後、「もっとこうなれば…」の欄に書いてくれたことをまとめ、管理職を通して、市民協に話し、具体的に動いてくれる可能性が出てきたところの話をしました。

また、さらに進むようなことがあれば報告します。

いつも大事にしたいね….

遊び心

Poche通信
No. 10

3学期 初Pocheは
6人でスタート……。
参加

参加の君の感想

今、生活科で昔の遊びをやっています。
「ただ遊ぶ」だけでなくて、「いろいろ作ろう」ということも、工作しています。
手先をきたえるために、折り紙のりづけ、はさみづかい…… 色々経験させたいなあと思います。
今日やってくれたみたいに、"作った俺、動かく"というのは、やっぱりすごくミリョク的です。上手く動かように工夫したり、やり直したり…… と子ども達が進んでがんばってくれるのがいいですね。
2つともやってみよう。

養護教諭の仕事は、個人情報や書類の管理が多いので、自分のやり方ができると、それのみに頼りがちです。
今日、たくさんヒントをもらいました。
来年度から、新しいやり方に挑戦してみます。

小学校部会…

○かんたんにできる遊び

「氷おに」や「くぐりおに」(?)など、かんたんにできる遊びをみんなで交流しました。

○折り紙のコマ

会員から、3枚の折り紙でパーツを作って、組み合わせるコマ作りを教えてもらいました。なかなかよく回って楽しいコマです。作り方は、また通信等でお知らせします。

○かんたんに作れるてんびん

会員から、3年生の算数で使う手作りのてんびんを紹介してもらいました。少し反応が鈍感なてんびんなので、授業では使いやすいと思います。

○「材料」の授業とサンプルづくり

会員から、ガラクタ類を分解して取り出し、素材ごとのサンプルをつくる授業を紹介してもらいました。少しまとめると、授業プランにできそうです。

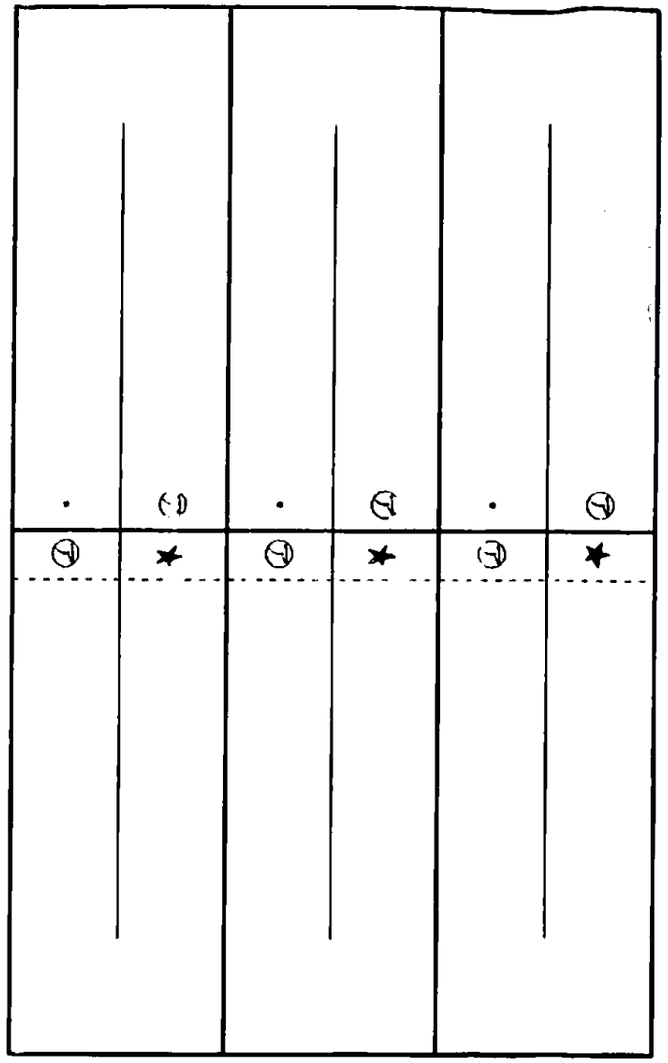
○学級の様子を交流

いろいろ話し合えて、とても楽しい時間でした。

できたかざぐるまで、こどもの心にもどれる
かわりかざぐるまづくり….

かざぐるまを手にし、部屋のまわりを走ったり、廊下を走ったり、エアコンの風にあてたりして「あ！まわった！まわった！」と大はしゃぎのものづくりでした。
右側にあるのが、羽の型紙です。

この通信をB4サイズに拡大してお使い下さい



健康教育部会…

○健康診断のすすめ方の工夫 交流

4月になれば、また、定期健康診断が始まります。学校規模が大きいほど、何日も同じ健診・検査が続きます。子どもたちには、自分の「からだ」のことを調べている意識ももたせたい。しかし、できる限り、スムーズにすすめたい。どんな工夫ができるかを意見交流しました。

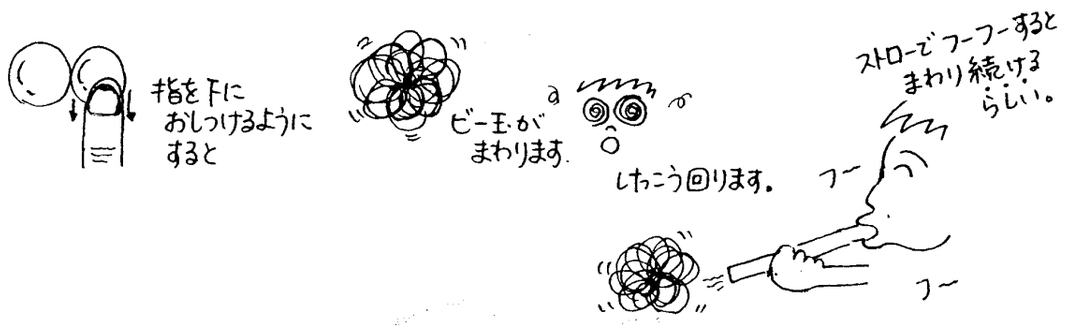
・3測定は、どの場所を使うとスムーズに行えるか、
・健康カードを工夫できないか　　など、

他校との違いもわかり、とてもいい話が深まりました。

ひとりひとり

がんばったね

ボンドがかわくのを待って、ダブルビーゴマをまわして遊ぼう!!



おなかの中にいた私……

会員の希望で、2年生におこなう性教育について、意見交流しました。

- 赤ちゃん人形を使っての抱っこ体験
- 妊婦さん体験ができる腹帯の紹介
- 子宮内の様子がわかる模型 ……Ⓐ

特にⒶを使って、胎児のまわりに、羊水があることをイメージさせ、この中で、呼吸は？ 食事は？ おしっこは？ うんこは？ どうしているのかを考えさせることを中心に会員でクイズ的にして答えてもらいました。

呼吸と食事は

胎盤までお母さんが届けてくれて、その胎盤まで、へその緒の中に自分の血を流してとりに行っている。

おしっこは

しているが、今の自分がしているおしっこと違い、とてもきれいな水のようなもの。実は、毎日の生活の中で、よう水は汚れてしまい、そのよう水を飲んで、体内できれいにし、おしっこのようにして体外に出す。

うんこは

生まれるまでずっとためている。

Poche通信

NO. 11

今回は合同で
性教育実践交流で
話がはずみました。

参加者の感想

性教育について勉強させてもらいました。まず、手づくり教材の素晴しさに感動！ おなかの中で赤ちゃんが生きるためにこんなにもがんばってたんだと話を聞いて感動しました。現在、妊婦の私も知らないことがいっぱいで、すごく勉強になりました。産休に入るまでに何らかの形で、かけがえのない命の尊さや自分自身ががんばって生まれてきたことを伝えていけたらいいなと思います。

手作り教材はわかりやすくてかわいくて、自分でも作ってみたいと思いました。赤ちゃんがおなかの中でしていたことは、びっくりすることがいっぱいです。実際に妊娠されている先生の話も合わせて聞けたので、とても興味深い勉強会になりました。学校の児童にもぜひ伝えてあげたいです。

おなかの中で、
自分が生きるために
ずっとがんばってきた

このことを感じてほしい。

参加者の中には、もうすぐ産休に入られる方がいて、その絶好のチャンスを生かして、
おなかをさわらせてあげたり、
質問コーナーをこどもたちとするのもいいね
という話ができました。

どうしても、伝えたい想いが先行してしまいがちなので、子どもたちの発達段階と、ニーズにあった内容と教材でありたいねという話ができました。